

科目名：歯科保健指導論Ⅲ<含、栄養指導実習>		必	1 単位 (45時間)
(Oral Health Guidance TheoryⅢ <contain, Nutrition guidance>) 履修年次/時期：2 年次 後期 授業形態：講義・演習 主担当教員： 井出 桃 (実務経験 歯科衛生士 26 年：実務経験から、対象者一人一人に適した健康増進を目指して目標を立て、ともに到達できる喜びを学んでいただきます) 担当教員： 小堀 陽子、金子 和美、西村 康			
学修目的	多様な生活習慣、生活環境、健康状態にある方々に、口腔の健康維持・増進を支援する能力を養う。 特に栄養摂取の観点から、全身の健康とのかかわりについて助言、支援できる能力を身につける。 CP1、2、3、4、5、6 に関連する 科目 No.S2C11H16		
この科目 が目的と している DP	1. 医療専門職としての倫理観を有する。	(1) 生命の尊厳を基盤とし、医療における倫理観を有する。	○
		(2) 医療専門職として礼節を重んじ品格を備える。	○
	2. 医療専門職として健康問題の発見と課題に取り組む能力を有する。	(1) 教養と考える力を身につけ、主体的に課題解決に取り組む能力を有する。	○
		(2) 専門的知識や技術を修得し、人びとの健康に寄与できる能力を有する。	◎
		(3) 社会の動向に関心を持ち、学び続ける力を有する。	○
	3. 口腔の健康支援を通して、全身の健康を守る高度な専門的能力を有する。	(1) 多様な価値観を持った人びとを理解し、人間関係を築く能力を有する。	○
		(2) 優しさに溢れる歯科衛生士として地域社会に貢献する能力を有する。	○
		(3) 歯科衛生士としての役割と責任を自覚し、多職種と協働できる能力を有する。	○
	◎： この講義・演習・実習と最も関連がある DP		
	○： この講義・演習・実習と関連がある DP		
到達目標	① 日本の食生活の変遷を説明できる。 ②近年の食生活の問題点を挙げ、国の改善への取り組みを説明できる。 ③バランスガイドによる食生活が把握できる。 ④ライフステージ別に食生活の問題点を説明できる。 ⑤ライフステージ別に栄養摂取の留意点を説明できる。 ⑥生活習慣病を説明できる。 ⑦生活習慣病のリスクに応じた食生活指導ができる。 ⑧対象者の食生活に関するアセスメントができる。 ⑨アセスメントをもとに対象者に適した食生活指導ができる。 ⑩消化に関わる唾液の作用がわかる。 ⑪食品の糖度、酸性度がわかる。		
授業概要	歯科保健指導論Ⅰ、Ⅱ、栄養学で修得した基礎知識をもとに、学生相互に口腔清掃指導および食生活を含めた生活指導を行う。さらに生活習慣病と食生活の関連を学び、各ライフステージや特別な支援を必要とする方に対し、栄養指導を含めた歯科保健指導ができる能力を養う。		
評価方法	筆記試験(90%)、レポート提出、受講・実習態度(10%)で総合評価する。 試験に対するフィードバックは掲示で行う。		

予習・ 復習時間	【予習】0.5 時間 【復習】0.5 時間				
教科書	(A)『歯科衛生学シリーズ 人体の構造と機能2 栄養と代謝』 (B)『歯科衛生学シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論』 上記2冊を主に使用します。上記の教科書は1年次にすでに購入済みです。				
参考書	『食品成分表2025』女子栄養大学出版部				
ワイア- 連絡先	井出 桃 :(月～金) 16:30～17:00 ide@kdu.ac.jp 3号館2階 研究室 小堀 陽子 :(月～金) 16:30～17:00 kobori@kdu.ac.jp 3号館2階 教員研究室 金子 和美 :(月～金) 16:30～17:00 3号館2階 教員研究室 西村 康 :(月・水・金) 12:00～13:00 nisimura@kdu.ac.jp 4号館2階 研究室 不在時はメールでお願いします。				

実施回	授業計画	予習・復習・キーワード	担当
1 A 班 (/) 限 B 班 (/) 限	食生活の概要 ①食生活の変遷を説明できる。 ②疾病構造の変化を説明できる。 ③国民健康づくりにおける食生活の改善の取り組みを説明できる。	〔予習〕 A178-191 B44-50 〔復習〕 プリント確認すること 〔キーワード〕 食生活の変遷、食生活と健康との関連、健康増進法、健康日本 21（第3次）、食育基本法、国民健康・栄養調査、食事バランスガイド	講義 ○井出
2 A 班 (/) 限 B 班 (/) 限	ライフステージ別・配慮を要する者への食生活指導 (乳幼児・学童・障害児) ①乳幼児の栄養摂取を説明できる。 ②摂食機能獲得を説明できる。 ③食生活の問題点を列挙できる。 ④食育の目標を列挙できる。	〔予習〕 A195-196 B320-338 〔復習〕 プリント確認すること 〔キーワード〕 原始反射、摂食機能獲得、う蝕のリスク	講義 ○小堀
3 A 班 (/) 限 B 班 (/) 限	ライフステージ別・配慮を要する者への食生活指導 (青年期・成人期・妊産婦) ①食生活の問題点を列挙できる。 ②妊産婦の栄養摂取の留意点を説明できる。	〔予習〕 A196-199、B312-320、B338-359 〔復習〕 プリント確認すること 〔キーワード〕 食育基本法、食事摂取基準、食生活指針、メタボリックシンドローム	講義 ○小堀
4 A 班 (/) 限 B 班 (/) 限	ライフステージ別・配慮を要する者への食生活指導 (高齢者・要介護高齢者・摂食嚥下障害者) ①身体的・精神的特徴を列挙できる。 ②栄養摂取の留意点を説明できる。	〔予習〕 A199-201 B360-386 〔復習〕 プリント確認すること 〔キーワード〕 口腔機能の変化、要介護者に対する食事支援、	講義 ○井出
5 (/) 限	生活習慣病（1） ①生活習慣病を説明できる。 ②リスクに応じた食生活指導ができる。	〔予習〕 A197-200 B357-359 〔復習〕 プリント確認すること 〔キーワード〕 生活習慣病、メタボリックシンドローム、高血圧症	講義 ○西村
6 (/) 限	生活習慣病（2） ①全身疾患の特徴を説明できる。 ②疾患別の食生活指導の要点を説明できる。	〔予習〕 A197-200 B357-359 〔復習〕 プリント確認すること 〔キーワード〕 脂質異常症、動脈硬化症、骨粗鬆症	講義 ○西村
7 (/) 限	生活習慣病（3） ①全身疾患の特徴を説明できる。 ②疾患別の食生活指導の要点を説明できる。	〔予習〕 A197-200 B357-359 〔復習〕 プリント確認すること 〔キーワード〕 糖尿病	講義 ○長谷

8 A班 (/) 限 B班 (/) 限	食生活指導実習（１） ① バランスガイドによる自身の食生活把握ができる。 ② 食生活の問題点を抽出できる。 ③食生活の長期目標、短期目標を挙げる。	〔予習〕 A184-187 B100-120 〔復習〕 プリント確認すること 〔キーワード〕 食事バランスガイド 食生活アセスメント	講義・（実 習） ○井出
9、10 A班 (/) 限 B班 (/) 限	食生活指導実習（２） ① 1年生の口腔内状況を把握する。 ② 1年生に食事バランスガイドを説明できる。	〔予習・復習〕 B121-128 〔キーワード〕 食事バランスガイド、口 腔内診査、歯科衛生介入、食習慣、食事 摂取記録の把握	実習 ○金子 小堀
11 A班 (/) 限 B班 (/) 限	栄養基礎実習 ①食品（主に飲料）の酸性度と糖度がわかる。 ②消化に関わる唾液の作用がわかる。	〔予習・復習〕 A23-24、B65-84 〔キーワード〕 酸性食品、糖度、消化酵 素	実習 ○金子 井出 小堀
12 A班 (/) 限 B班 (/) 限	食生活指導実習（３） ① 1年生の口腔内状況と食事摂取記録をアセスメントす る。	〔予習・復習〕 食事バランスガイドを確 認すること 〔キーワード〕 食事バランスガイド、食 習慣・食事記録の把握、整理	実習 ○井出 小堀 金子
13 A班 (/) 限 B班 (/) 限	食生活指導実習（４） ① 1年生のアセスメント情報を整理・分析し、問題点を 抽出できる。 ②指導計画を立案できる。	〔予習・復習〕 情報収集した事項をよく 検討しておくこと 〔キーワード〕 歯科衛生過程、食習慣・ 食事記録の把握、分析、食事指導の目標 立案	実習 ○小堀 井出 金子
14 A班 (/) 限 B班 (/) 限	食生活指導実習（５） ①指導内容を整理し、書面化できる。	〔予習・復習〕 記録を整理しておくこと 〔キーワード〕 歯科衛生過程	実習 ○小堀 井出 金子
15 A班 (/) 限 B班 (/) 限	食生活指導実習（６）・振り返り ① 自身の食生活の長期目標、短期目標の達成度評価及 び問題点を把握できる。	〔予習・復習〕 〔キーワード〕 生活習慣、食生活改善提 案	実習 ○井出 ○小堀 ○金子